

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



下仁田小学校 大運動会（9月30日）

あなたと議会を結ぶ 確かな情報と信頼



踏ん張れ綱引き 負けられない

**主な
内容**

- 新しい議会構成決まる 2
- 一般質問等 4~6
- 予算決算質疑 7~9
- 審議結果 10~11
- 行政視察報告 11
- シリーズジオパーク② 12



下仁田町議会
QRコード

新しい議会構成が決まる

正副議長就任のあいさつ

「提案型議会」を目指して

議長 堀口博志



9月議会において、議会構成が行われ議長に就任いたしました。協調と共和のもとに、公正な議会運営に取り組んでいきたいと思っております。

本町を取り巻く情勢は、緩やかな景気回復はあるとはいえ、それをなかなか実感するこ

とはできません。そんな中、少子高齢化と人口減少は避けて通ることができない問題です。

また、百年に一度という地震やゲリラ豪雨等の自然災害はまだありませんが、今後ないとは言いきれません。いつ何時でも万が一に備え、住民の安心と安全を確保しておかなければなりません。そのためにも、町民

各位の信頼に応えるよう、執行と力を合わせ

協力しながら、政策提言も行っていく提案型議会を目指していきたいと思っております。

今後とも、議会になお一層のご理解とご協力を、そしてご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

「提案型議会」を提唱する議長を全力で補佐する

副議長 佐藤 博



副議長に推挙され就任いたしました。

「提案型議会」を提唱する堀口博志議長を全力で補佐します。

開かれた議会の実現に向けて、全議員の理解の下に2年前から予算決算特別委員会の傍

聴が可能となりました。3月は新年度予算の審議過程、9月は前年度決算の承認過程を、私たちと同じ資料をご覧になりながら傍聴できます。是非、本会議の傍聴に加え、町政及び議会の審議に興味を持ってご参加ください。詳しくはお誘い申し上げます。

監査委員 岡田武二

予算の執行状況を検証していきます。



9月定例会の概要

▼開会日(9月7日) 会期を21日までとする決定を行い、2人の議員が、町政のさまざまな課題について一般質問を行いました。

▼議案の上程・採決(11日) 報告4件、人事案件・条例等の改正案など7議案を上程・採決し、平成29年度5会計補正予算と平成28年度決算認定等7件を予算決算特別委員会に、陳情1件を社会経済常任委員会に付託しました。

▼予算決算特別委員会(12・13日) 社会経済常任委員会(14日) 付託された案件の審査を行いました。

▼採決(20日) 審議結果は10・11ページをご覧ください。

▼最終日(21日) 議会構成(3ページに一覧掲載)



小須田 肇 委員 佐藤勇二 委員 岡田邦敏 副委員長 千野 榮治 委員長 岩崎 正春 委員 佐藤 公夫 委員

総務常任委員会

総務課・町長公室・地域創生課・住民税務課・会計課及び教育委員会の所管に関する事項を調査・審査します。



佐藤 博 委員 岡田 武二 委員 永井 正之 副委員長 木暮 弘元 委員長 島崎 紘一 委員 堀口 博志 委員

社会経済常任委員会

福祉保険課・保健環境課・農林課・商工観光課・建設ガス水道課及び農業委員会の所管に関する事項を調査・審査します。

議員役職一覧表

(平成29年9月21日現在)

議長 堀口博志 副議長 佐藤博 監査委員 岡田武二													
委員会等	氏名												
	● 委員長	◎ 副委員長					○ 委員						
	小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	佐藤勇二	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	
総務常任委員会	○	◎			○		○	●				○	
社会経済常任委員会			◎	●		○			○	○	○		
議会運営委員会				○	○	○		○	●			◎	
予算決算特別委員会	○	○	○	◎	●	○	○	◎	○	○	○	○	
広報発行特別委員会	◎	●		○	○	○		○	○				
少子高齢人口対策特別委員会	○	○	◎	○	○	○	●	○	○	○	○	○	
下仁田南牧医療事務組合議員				○		○	○		○	○		○	
甘楽西部環境衛生施設組合議員		○	○		○			○		○	○		
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合議員				○				○		○			
国民健康保険運営協議会委員			○	○		○							

一般質問 町政を問う

■質問事項一覧 >>> (傍聴者数7人)

◆岡田邦敏 議員 30分・・・ 5 ページ < 質問の相手 >

道の駅しもにた改修について

- ①工事費及び工事の進捗状況について
- ②6次産業化について
- ③コミュニティ施設について

災害時の対応について

- ①防災マップについて
- ②職員の連絡網等について
- ③災害用の笛について

町 長

「チャレンジ交流拠点しもにた」建設について

- ①工事費について
- ②この建物の目的はなにか

◆小須田肇 議員 30分・・・ 6 ページ < 質問の相手 >

観光について

- ①軽井沢町と荒船風穴及び神津牧場をつなぐもっとも近いアクセス道路として、軽井沢^{ホツチ}地区から通じる妙義荒船スーパー林道が考えられますが、その林道の現在の状況と、その林道を活用した観光ルートの計画はありますか
- ②下仁田町の九峰登山道の修復をしていただきたいと思いますが、計画はありますか
- ③下仁田地内の県道等で、道路に木の枝がおおいかぶさり、観光バス等の通行に支障がある場所がありますが、町で対応ができないか

町 長
商工観光課長
建設ガス水道課長

町の物品購入における地元業者との取引について

- ①地元業者と他町業者との取引の、ここ20年～30年の推移
- ②その過程での地元業者と他町業者との取引の割合は

総務課長

※次ページからの質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。会議録の詳細は、11月上旬から下仁田町議会のホームページに掲載しますのでご覧ください。

下仁田町議会ホームページアドレス <http://www.town.shimonita.lg.jp/m08/index.html>

一般質問とは

一般質問とは、議員が町の行財政全般（公共事務、団体委任事務、行政事務の一切を含む）にわたって、事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行者に求め、町が町民のための適切な町政運営を進めているかチェックするものです。

来春オープン 道の駅

問 「道の駅しもにた」再整備事業・費用対効果

答 20年間で、約1億円の歳入

議員 改修費総額と補助金等について。

商工観光課長 全体事業費は契約ベースで

約6億7千万円、その内の補助金が約2億9千万円、過疎債等3億1千万円、一般財源が約4千万円です。

議員 再整備事業の費用対効果について。

商工観光課長 20年間

で町の歳入として約1億円見込んでいます。

議員 フードコート・

高速バスターミナル・コミュニティ施設について。

商工観光課長 フード

コート内で地元農産物を使用した6次産業化を展開し、生産者が通年での所得が得られるように図つ



岡田 邦敏 議員

ていきます。

高速バスターミナルについては、屋根及び雨風をしのげる待合室を設置し、そこからトイレまでの通路にも屋根を設置します。コミュニ

ティ施設の目的は、子育て及び高齢者支援などの地域福祉支援の拠点という大きな目的と有事の際に、地域防災の拠点としての機能を有する建物です。

議員 来春にオープン

予定ですが、町長としてどんな道の駅にしたいですか。

町長 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置づけ、

完成後は地産外消による販路拡大や売り上げの増大により、地域経済の好循環を実現させ、あわせて農業振興及び支援など基幹産業の拠点にしたい。

問 災害時の対応は

答 急傾斜対策や地産事業で対策工事をする

議員 配布された防災

マップには、随所に土砂崩れや水害の危険箇所が多く見受けられるが、町としての対策は。

総務課長 急傾斜対策

や地産事業は、地区の要望等により該当する課が県へ要望し、県が現地を確認し対策工事を実施する。

議員 災害が発生した

場合、徒歩等で速やかに登庁できる職員は何人いますか。

総務課長 2キ口未満

の職員25名を緊急登庁職員に指定して、初期対応にあたりその他の職員は災害の状況により、それぞれの勤務場所に参集する。

議員 災害用の笛は孤

立した場合や屋外等で助けが必要なき、また危険を知らせる場合など有効な手段で、防犯上も役立つと思われる。

総務課長 今後も区長

会等の会議で防災意識の向上を進めた

問 「チャレンジ交流

拠点しもにた」について

答 起業支援と地域の交流スペース

議員 仲町の旧黒澤商

店さん跡地に建設が予定されている「チャレンジ交流拠点しもにた」の総工事業費及び補助金等について。

地域創生課長 総工事

費は約6350万円、その内訳は補助金等6千万円、一般財源350万円を予定している。

議員 どんな人が、ど

んな目的で、いつから使用できるのか。

地域創生課長 企業支援と地域の交流スペースとして、来年度からの使用を予定しています。

議員 町長はこの施設をどのようにしていきたいか。

町長 起業したい若者を、行政として応援するとともに交流人口の増加、にぎわい創出を図り地域の活性化につなげたい。



「チャレンジ交流拠点しもにた」建設予定地



小須田 肇 議員

町の今後の観光施策について

問 「妙義荒船林道」を活用した観光ルートの計画は、関係自治体と協議し環境を整えたい

議員 軽井沢町と荒船風穴及び神津牧場をつなぐ一番近いアクセス道路として妙義荒船スーパー林道が考えられるが、その林道の現在の状況と、その林道を活用した観光ルートの計画はありますか。

建設ガス水道課長 一部分が崩落のため通行止めとなっている

が、迂回路として、レイクニュータウン先の別荘地を経由するルートが神津牧場や荒船風穴にアクセスしている。

商工観光課長 現段階においてその林道を活用した観光ルートの計画はないが、このルートを利用して神津牧場まで行くには、数箇所妙義荒

船スーパー林道の表示がある。一部老朽化しているがわかりやすい案内看板を検討したい。

今後このルートを観光制定していくには、枝の伐採などの課題解消や改善が必要と思われるので、建設ガス水道課と連携し、関係自治体と協議を行い環境整備を考えていきたい。

議員 最近低山登山が人気で、九峰登山者もときおり見かけるが、「登山道入り口の案内板がわかりづらかった」と言う声を、都内から来た登山者の方から聞いた。入口の案内板の再整備をしていただきたい。

商工観光課長 現段階ではその計画はないが、現状を把握し安全性を踏まえて順次考えたいと思う。

議員 下仁田市内の県

道等で、道路に木の枝が覆いかぶさり、観光バス等の通行に支障がある場所があるが、町で対応できないものか。

建設ガス水道課長 国県道に限るが、通行に支障がある樹木が確認された場合には、建設ガス水道課に一報いただければ、富岡の土木事務所に連絡をするので、課に連絡をいただきたい。

問 物品購入の地元業者と町外業者の取引の割合は

答 町内業者がおおむね95%

議員 町の物品購入における地元業者と、町外業者との取引の、ここ10年〜20年の推移、その過程での取引の割合はどのようなものか。

総務課長 昭和50年7

月に用品調達基金条例を施行し、在庫管理を行っている。用品調達基金で取り扱う物品の購入については、基本的に町外業者を利用する方針をとっている。平成10年からは在庫管理物品以外の事務用消耗品についても、町内の業者で購入する

よう努めている。

議員 職員の皆さんも町内での物品の購入をぜひとも心がけていただきたいと思うが、町長にも朝礼、訓示等で呼びかけていただきたい。

町長 私もそういう主義で、その方向で進みたいと思う。



仲町商店街

予算決算特別委員会（傍聴者2人）

▼主な質疑

◆平成29年度下仁田町一般会計補正予算（第3号）

史館をリニューアルし展示室の見直しを予定している。

旧黒澤商店周辺の財産取得は、地方創生の補助金や過疎債の対象にならないのか。

森林・林業再生基金づくり交付金事業を活用し、森林組合の22トン大型トラック購入計画に対する補助金として予算計上した。計画自体は承認されたが内容が点数で評価され、今回の基準点に達していません。中止の判断をした。

6月と2月に定例会を開催している。新たに保険料の試算結果等が県から示されれば、必要に応じて協議会の開催を予定している。

産税の現年課税分は68人。滞納繰越分は105人。軽自動車税の現年課税分は32件、滞納繰越分は49件となっている。

問 教育費学校管理費の説明を。

答 本年6月に決定された「女性活躍加速のための重点方針2017」に基づき、今後住民基本台帳法の改正が予定されている。希望者には、住民票やマイナンバーカード、パスポート等に旧姓を併記できるようにするためのシステム改修である。

答 土地の購入のみは過疎債の対象にならない。土地開発基金で購入し、それを財産替えするということで、過疎債は充当できない。

問 森林組合の構想に無理がある。町も事業を補助する立場として、森林組合を指導した方がよい。要望については良く精査すること。

◆平成28年度下仁田町一般会計歳入歳出決算認定について

問 基金運用収入について、どのように基金運用しているか。

答 小学校の危険木伐採・周辺木の整備と遊具点検委託料です。

問 ジオパーク推進費の補正内容は。

問 「道の駅しもた」再整備事業の内容について。

問 町税で不納欠損した人数は。

◆平成29年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

問 歳入の基金運用収入、大きい金額である財政調整基金について、運用状況はどうか。

答 臨時職員の通勤手当の支給と秋田県男鹿市で開催されるジオパーク全国大会出席への旅費及び自然

答 本年6月に決定された「女性活躍加速のための重点方針2017」に基づき、今後住民基本台帳法の改正が予定されている。希望者には、住民票やマイナンバーカード、パスポート等に旧姓を併記できるようにするためのシステム改修である。

答 外国人誘客を目的とした商品開発等委託費で、振興事業として行うものです。整備により販売スペースも拡張され、新しく菓子工房等もできる。地場の農産物や特産品を活用した商品開発を目的とし、町が窓口となり農林省から補助を受け、事業を担う「産

問 平成30年度の制度改正前に国保運営協

問 個人住民税の現年課税普通徴収分は47人、現年課税特別徴収分は2人、滞納繰越普通徴収分は43人。法人税の現年課税分は3件。滞納繰越分は10件。固定資

答 大口は定期預金より利率のよい譲渡性預金で運用している。

問 マイナンバーカード活用法を考えているのか。

問 総務管理費寄附金について説明を。

問 企業版ふるさと納税で、巴工業様とプライムプラン様分です。

問 平成29年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

問 個人町県民税1人、固定資産税6人、軽自動車税3人。

答 そのようにしたい。

問 平成29年度下仁田町一般会計補正予算（第3号）

問 企業版ふるさと納税で、巴工業様とプライムプラン様分です。

問 平成30年度の制度改正前に国保運営協

問 個人住民税の現年課税普通徴収分は47人、現年課税特別徴収分は2人、滞納繰越普通徴収分は43人。法人税の現年課税分は3件。滞納繰越分は10件。固定資

答 大口は定期預金より利率のよい譲渡性預金で運用している。



予算決算特別委員会の様子

問 基金は複数の金融機関に積んでいるのか。

答 基本的に同じ金融機関に預金している。今年度は、町外の金融機関の営業により、有利な利率であった町外の金融機関に基金の一部を預金した。

問 一つの金融機関でなく、分散することも考えたほうが良いのでは。

答 検討したい。

問 町立学校施設基金繰入金を使わなかった理由は。

答 基金を取り崩し、調理場建設費に充当すべきところを、予算書を見落とし、使用しなかった。

問 入湯税について。

答 2カ所（宿泊・日帰施設各1カ所）で課税している。

問 荒船の湯は課税しているのか。

答 課税していない。

【歳出】

問 緊急通報体制整備事業について。

答 対象者は1人暮らしの高齢者及び昼間等1人暮らし高齢者が対象で、有線の電話回線を利用して、装置は人感センサー、緊急連絡装置及びペンダント型連絡器がある。



緊急連絡装置



ペンダント型連絡器

問 運転免許自主返納補助金の内容について。

答 免許証を返納し警察署で発行する運転経歴証明書の発行手数料分の千円を補助している。28年度の実績は22件。

問 補助の内容を手厚くしてもらいたい。

答 町営バスの回数券千円分を贈呈。また、経歴証明書の提示によりタクシー協会では運賃の1割引、上信電鉄では運賃の5割引などのサービスをしている。内容については検討したい。

問 しもにたバス運転管理委託について。

答 スクールバスと、しもにたバスを一体で委託している。

問 若い人が運転手として働くような募集をしているか。

答 バス運行会社の方と打ち合わせの際に

話をしている。

問 委託先の労働分配率が悪い。働く人に回す様に進言すること。

答 ふるさと納税サイト等管理運営委託料の支払い金額の算出方法は。

問 「ふるさとチョイス」と「さとふる」の2サイトを利用している。ふるさと

チョイスは寄付額の10%、さとふるは12%で委託している。自前運営の場合、

***ポータルサイトシステム利用・職員の事務量増加を考えると、委託したほうが安いと考えている。**

問 消防費の食糧費について。

答 非常食平成33年までの分を1878

食分、保存飲料水500ミリリットルペットボトル入りを3600本購入。

問 期限切れとなった

ものの処分は。

答 以前は、期限切れまで役場で保存していたが、2年ほど前から各地区に配布し、集会所等に備蓄していた。だいたい

問 地域未来塾とは。

答 土曜スクールで、高崎のNPO法人DNAの大学生を講師に迎え、月に2回程度小・中学生の勉強を見てもらっている。

問 行政防災メールメンテナンス委託について。

答 「しもにたインフォメール」の保守料で3万2800円×消費税×12カ月分となっている。

問 風穴見学者は何人か。

答 1万3161人。

問 1人当たり千円近く経費が掛かっている。一方通行にして、下から入れるこ

とを公安委員会に申し入れたほうが経費が安くできると思うが。

答 検討したい。

問 ジオパーク推進費で不要額が400万円も出ている。節約による不用額はよいが、事業未実施などで不用額がないよう実施されたい。

特にジオパークは、今年再認定の年で予算がないから出れないではなく、きちんと必要なものを予算要求して、万全な体制で再認定を受けてもらいたい。

再認定は「多分大丈夫だと思う」ではなく「絶対に再認定になる」と「安心して下さい」と宣言して貰いたい。

答 一生懸命がんばりたい。

※ポータルサイトシステムとは Web 上の様々なサービスや情報を集約して簡単にアクセスできるようにまとめた、Web 利用の起点となる Web サイトのこと。

問 老朽空家除却費補助金について。

答 平成28年度は3件の助成で、下仁田地区が2件、西牧地区が1件だった。

問 下仁田南牧医療事務組合の負担金の決算額は当初予算と同額か。

答 3月補正で765万6千円増額した。

問 富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合看護専門学校負担金702万円の決算額だが、下仁田町民は在籍しているか。

答 平成28年度の実績では、在籍数85人のうち3人が下仁田町に在住し、下仁田厚生病院に6人勤務している。

問 家族介護慰労金について。

答 要介護4または5に相当する状態が1年以上継続し、基準期間内でショートステイ及び入院等によ

り在宅生活を離れた期間が通算100日を超えない人が対象になる。

問 増額を考慮してもらえないか、8万円は少ないのでは。

答 今後検討したい。

問 ぐんま緑の県民基金事業について、西野牧黒川地区で伐採を行っているが、現地の様子を見ると、伐採した木が河川敷に放置されている状況であるが、対策は。

答 当該伐採木の搬出について、当事業で対応可能か県に照会したところ、補助項目における「管理」の一環として対象になるとの回答を得ている。

問 都市計画基金について説明を。

答 都市計画基金の活用は県知事の認可を受ける必要がある。町の都市計画に定められた都市計画施

設は山際・吉崎・青岩の3公園であり、更新・改良にも認可・承認が必要である。これからの計画としては県の認可・承認を受けて都市公園施設整備に基金を使用させていた、できたいと考えている。

◆平成28年度下仁田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

問 下仁田厚生病院での人間ドックの収容人数は。

答 日帰り171人、泊16人、計187人。

問 病院の良好な経営にもつながるので収容人数を増やしていくように病院と協議してほしい。

◆平成28年度下仁田町水道事業会計利益の処分及び決算認定について

問 現在の余剰の水

が何トンくらいあるのか。今後、供給が増えても対応できるか。

答 道平ダム水利権分は青岩取水塔から取水している。水利権では1日3千トン取水できるが、現在は1日1500トン以下で取水している。

◆平成28年度下仁田町ガス事業会計利益の処分及び決算認定について

問 ガス事業は民間企業への譲渡が検討されているが、企業債の残はどのように対応するのか。

答 ガス事業が民間企業へ譲渡された場合、企業債の残は、ガス事業が譲渡された時点で一括返済することになる。

取水量が少ない理由は、取水塔からのポンプアップ等に電気料がかなり掛かるためです。

◆平成28年度下仁田町ガス事業会計利益の処分及び決算認定について

問 ガス事業が民間企業へ譲渡された場合、企業債の残は、ガス事業が譲渡された時点で一括返済することになる。

答 ガス事業が民間企業へ譲渡された場合、企業債の残は、ガス事業が譲渡された時点で一括返済することになる。



茂原会長と堀口会長から織田澤県議会議長へ伝達

「ぐんま緑の県民税」継続に関する要望書提出

9月22日、群馬県庁において、甘楽郡町村会と甘楽郡町村議会議長会で、群馬県知事・群馬県議会議長宛てに、平成31年度以降も引き続き「ぐんま緑の県民税」を継続されるよう要望書を提出した。

審議結果

7月臨時会（7月10日開催）

○は賛成、×は反対を表しています。

議案番号	議案名	議員名	小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	審議結果
66	平成29年度下仁田町一般会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

8月臨時会（8月30日開催）

議案番号	議案名	議員名	小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	審議結果
67	平成28年度公営住宅建設事業伊勢山下第2町営住宅建設工事請負契約について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
68	平成29年度「道の駅しもにた」道路改良及び駐車場整備等工事請負契約について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
69	平成29年度「道の駅しもにた」コミュニティ施設建設工事請負契約について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※5千万円以上の契約は議会の議決が必要です。

9月定例会

議案番号	議案名	議員名	小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	審議結果
	平成28年度決算に基づく健全化判断比率について（報告第6号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成28年度決算に基づく公営企業資金不足比率について（報告第7号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	有限会社産業開発しもにた経営状況の報告について（報告第8号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
70	下仁田町等公平委員会委員の選任について 佐藤千栄 氏（新任）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
71	監査委員の選任について 茂木吉成 氏（再任）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
72	教育委員会委員の任命について 佐藤千代子 氏（新任）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
73	教育委員会委員の任命について 工藤貴弘 氏（再任）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
74	下仁田町税条例等の一部を改正する条例 ※地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律等により地方税法が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものです。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
75	下仁田町営住宅設置条例の一部を改正する条例 ※伊勢山下住宅団地が完成したため条例に2棟4戸を追加するものです。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
76	下仁田町ガス供給条例の一部を改正する条例 ※ガスの小売り自由化に伴い年間10万立法メートル以上の使用者に対して大口料金設定の改正をするものです。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
77	平成29年度下仁田町一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
78	平成29年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案番号	議案名	議員名										審議結果	
		小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	岡田武二		佐藤公夫
79	平成29年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
80	平成29年度下仁田町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
81	平成29年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
82	平成28年度下仁田町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	認定
83	平成28年度下仁田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
84	平成28年度下仁田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
85	平成28年度下仁田町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
86	平成28年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
87	平成28年度下仁田町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
88	平成28年度下仁田町ガス事業会計利益の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
89	財産の取得について ※土地開発基金による土地の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
90	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
91	市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について(陳情第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※佐藤勇二議長を除く11人で採決を行います。

行政視察報告

▼甘楽・多野地域町村議会議員鳥獣被害対策協議会先進地視察

視察日 8月31日

視察先 利根郡川場村

鳥獣対策協議会の永井正之議員・岡田邦敏議員が参加し、川場村の取り組みについて説明を受けた。

研修会で外山村長

は「川場村はクマ・シカ・イノシシ・サル等の駆除対策をしないと農産物等々が非常に脅かされるので、獣害対策を積極的にやっている。

平成27年、檻を設置したことでサルの被害がなくなり村民の皆さんに大変喜ばれた。現在、村内では大きな被害はない。

イノシシ、シカについては、電気柵を設置し、しっかりと管理をして防いでいる。

最近是人間の怖さを知らないクマが非常に増えてきた。川場村では、昨年からは狩猟免許を取得するのに、1人当たり10万円の補助金を出して徐々に若い人を増やしている。」と説明した。



パネル方式の移動ができる檻(試作)



リニューアルした下仁田町自然史館

ジオパークを知るには まず下仁田町自然史館へ！

下仁田ジオパークへ出かける前にまず立ち寄ってほしいのが、青倉にある「下仁田町自然史館」です。ここは、下仁田町の地質や自然についての資料や標本を展示した博物館で、ジオパークの拠点施設にもなっています。建物は2010年に閉校した青倉小学校の校舎を利用しており、学校の雰囲気を残した展示も特徴の一つです。

自然史館の展示室は「下仁田の自然」、「大地の大移動」「跡倉クリツペ」、 「太古の火山活動と氷河の時代」、「化石と鉱物の部屋」の4つに分かれており、それぞれのテーマごとに、下仁田の周辺からあつめた標本を見ながら学習することができます。最初に自然史館に立ち

寄ってほしいのには理由があります。館の展示ではジオパークのみどころの解説や現地を観察するポイントを説明しています。展示を先に見ることで現地での観察の手助けになり、よりジオパークを楽しむことができます。展示で学んだこと、現地で見た景色が重なったとき、自然の中に隠された地球の物語が見えてくるはずですよ。

また、10月1日からは第1回企画展「アンモナイトの海と火山の誕生・四ツ又山1億年前の姿」も開催しています。こちらでは、四ツ又山に焦点を当て、その調査からわかった過去の下仁田の姿に迫ります。最新の研究成果も交え、見ごたえのある展示となっています。

地域おこし協力隊
(下仁田町自然史館勤務)
片山 美雪さん

ぜひ一度、下仁田町自然史館へ足を運んでみてください。

議会だより・会議録をホームページでご覧下さい。
<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

次の定例会は12月の予定です
議会傍聴をお待ちしています。
日程などのお問い合わせは
☎64-8810



議会だより第78号(平成29年8月1日発行)の内容に誤りがありました。
2ページ3段目、「下町地内 古民家改修」とあるのは、正しくは「仲町地内 古民家改修」でした。
訂正してお詫び申し上げます。

編集室から

日増しに寒くなっていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。秋祭りも終わり、11月下旬になると霜が降りて甘みが増すと言われている特産の「しもにたネギ」を使った

の方に議会の内容を伝えられるような広報紙を目指し委員全員で協力して、見やすい広報紙の発行を心がけていきます。

K・O

広報発行特別委員会
委員長 岡田邦敏
副委員長 小須田肇
委員 木暮弘元
岩崎正春
佐藤博
千野榮治
島崎紘一

9月定例議会で、正副議長及び各委員会の構成も変わりました。これからも、より多く